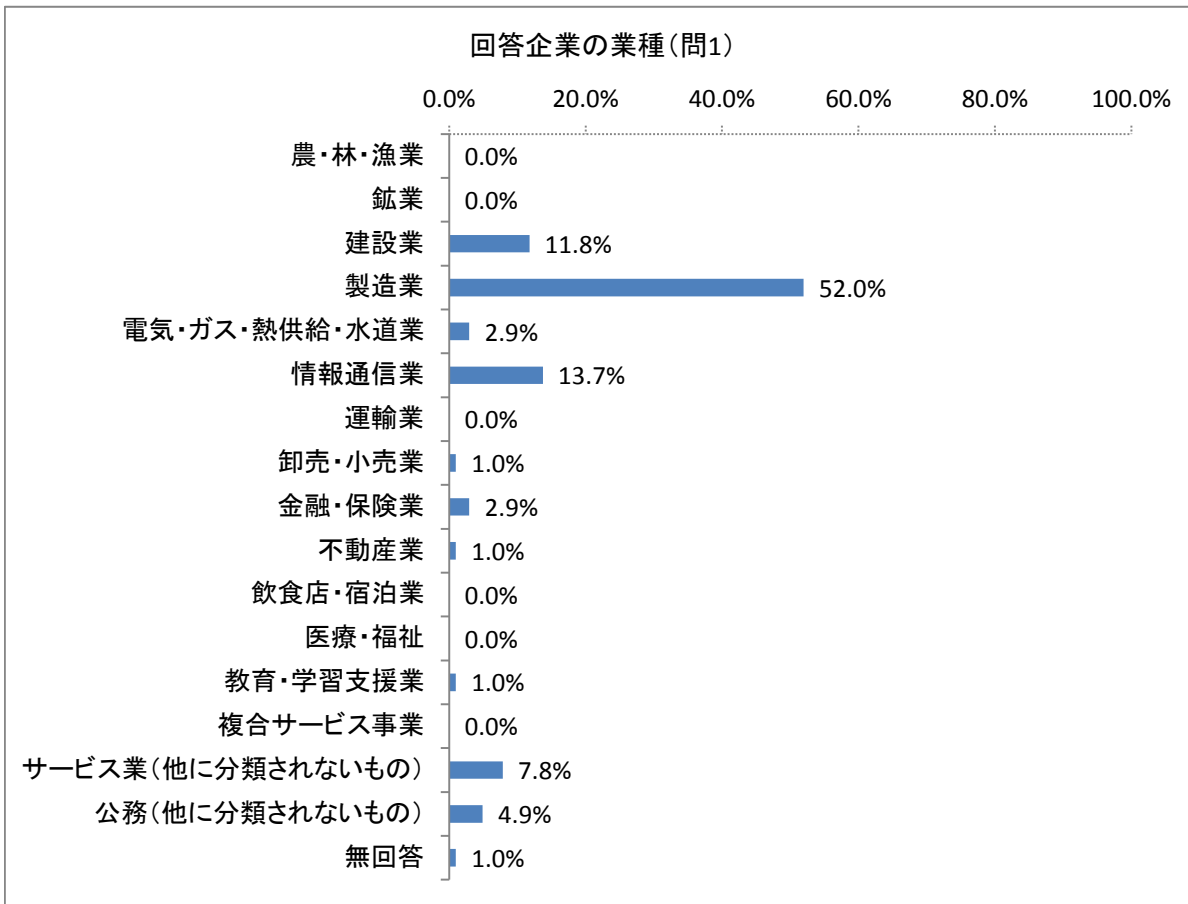
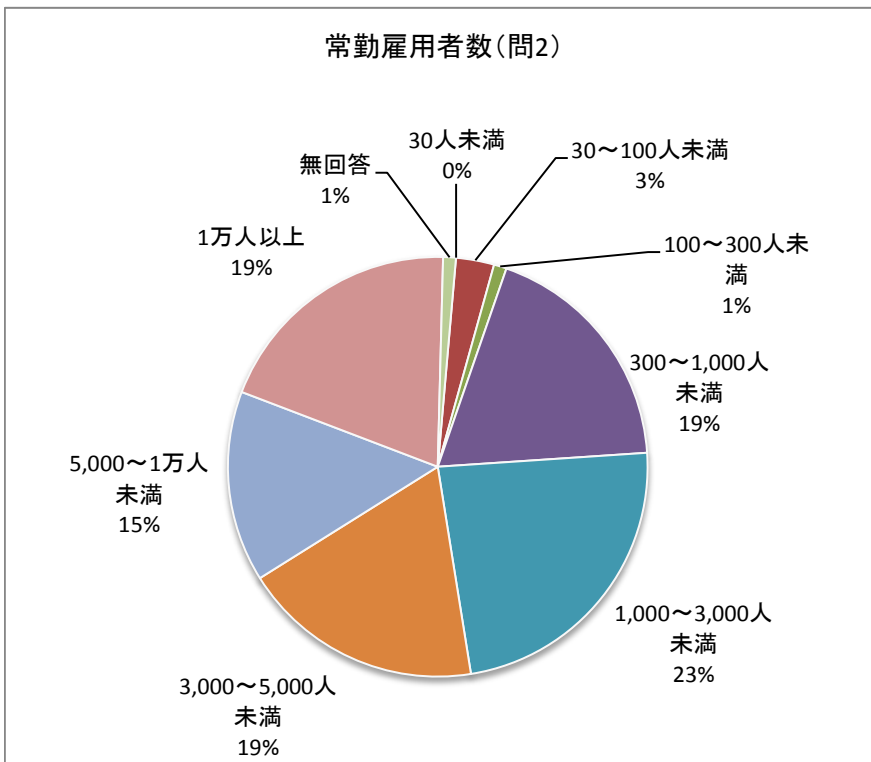


■東京工業大学の卒業生に関するアンケート

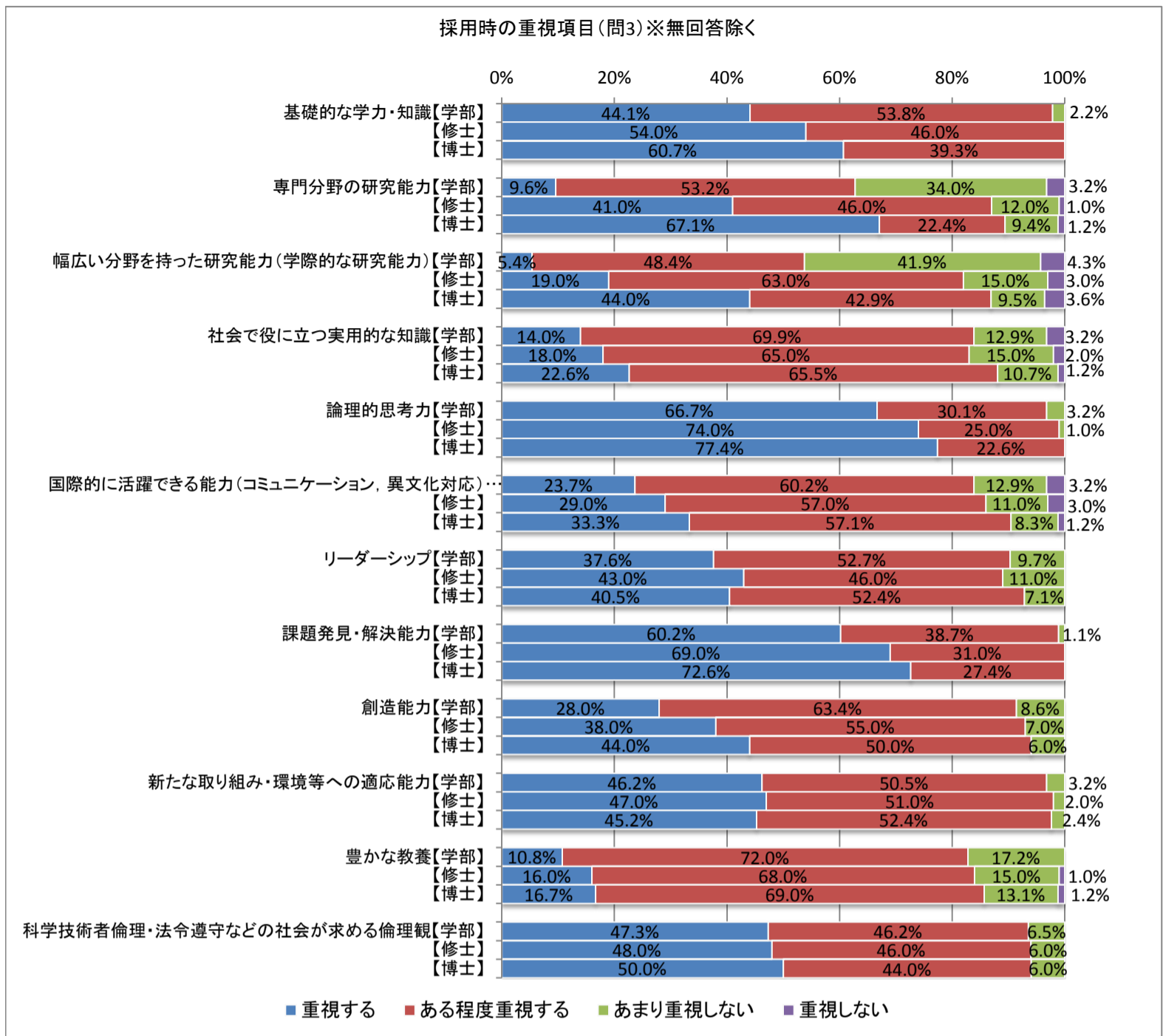
問1. 貴社(貴機関)の属する業種を、次の中から選んでください



問2. 貴社(貴機関)の常勤雇用者数は約何人ですか。次の中から選んでください。



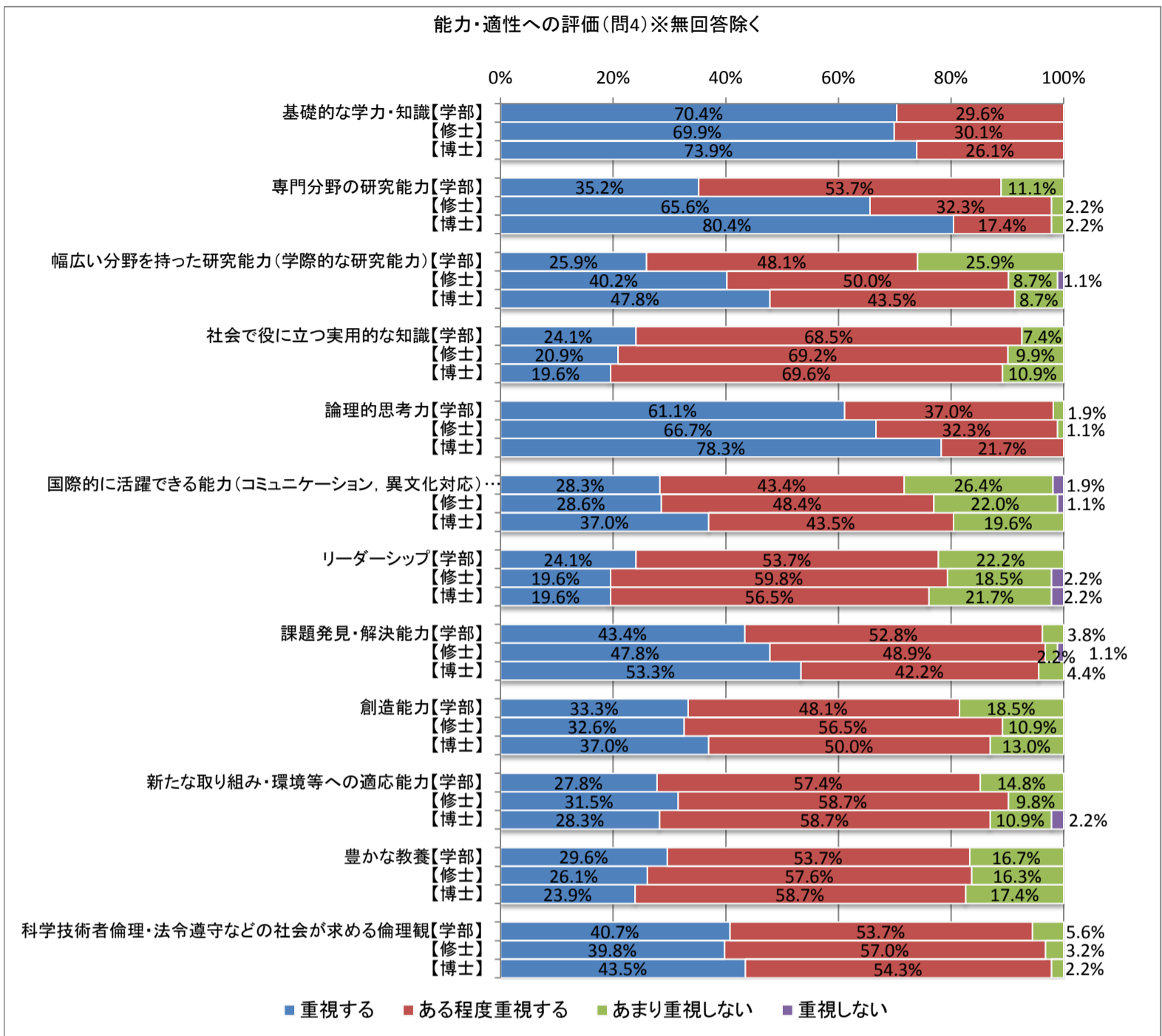
問3. 貴社(貴機関)が社員(職員)を採用する場合に、次の各事項をどの程度重視しますか。



※その他の記述回答

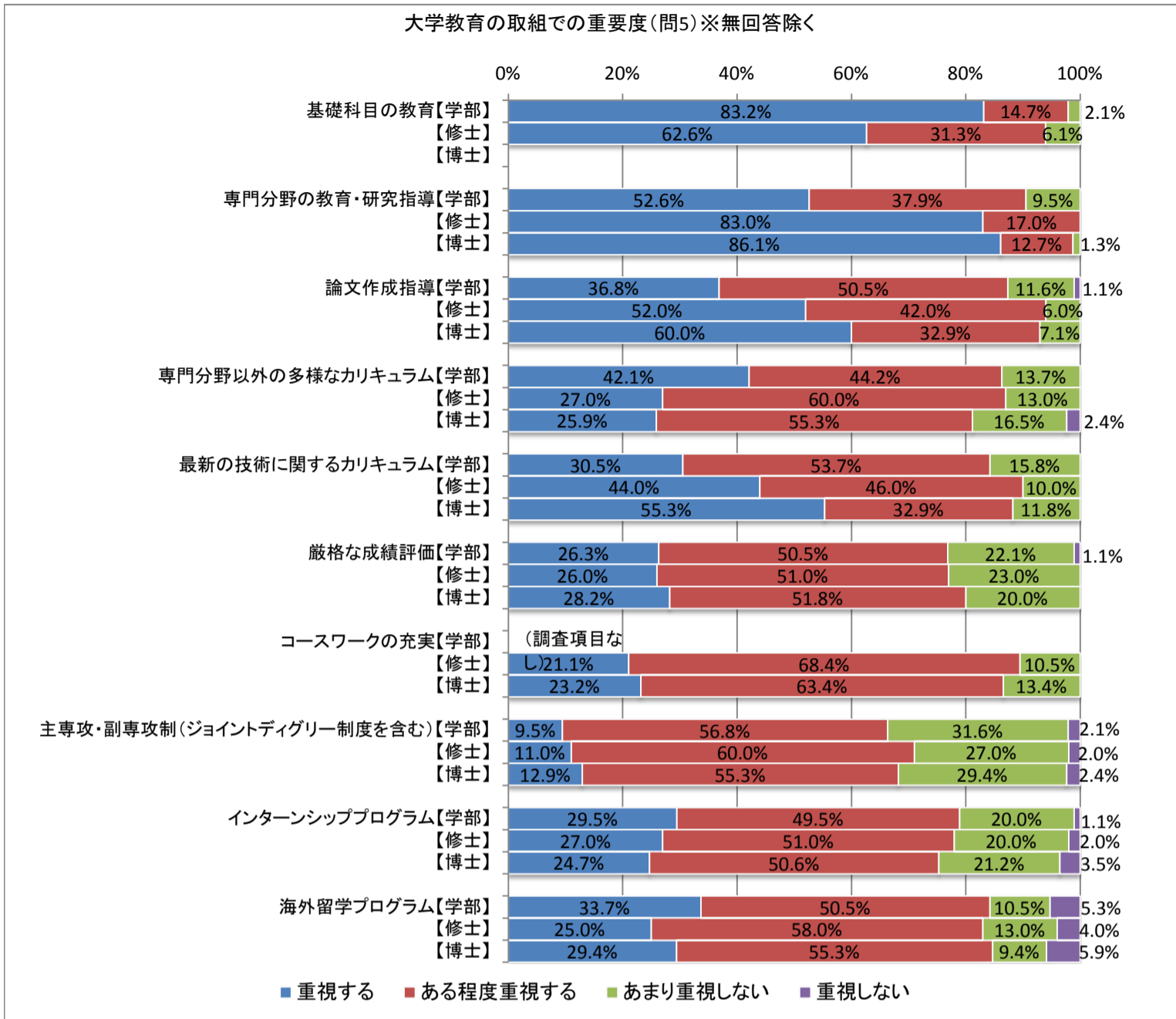
- ・ストレス耐性
- ・人間力
- ・逞しさ

問4. 本学の卒業生について、以下の項目に関する能力・適性をどのように評価しますか。



※その他の記述回答
・遅しさ

問5. 大学(及び大学院)における教育(研究指導)の取組として、次のものは重要だと思いますか。

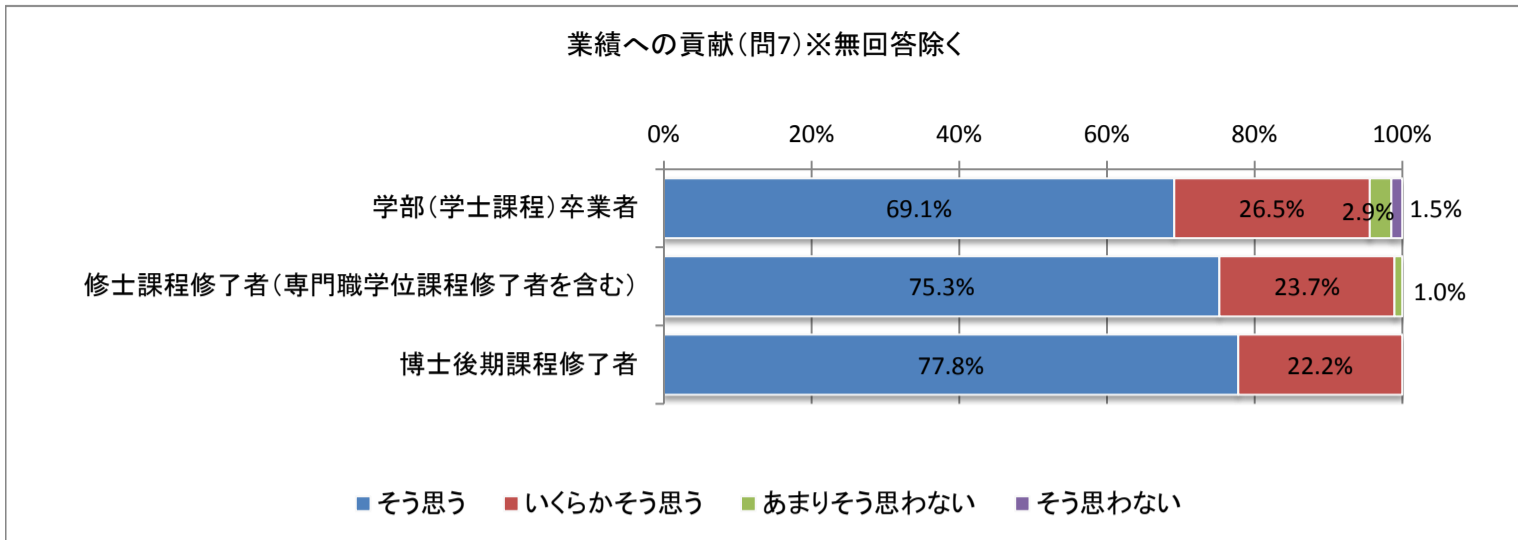


※その他の記述回答
 ・英語・特に会話力
 ・社会常識、マナー

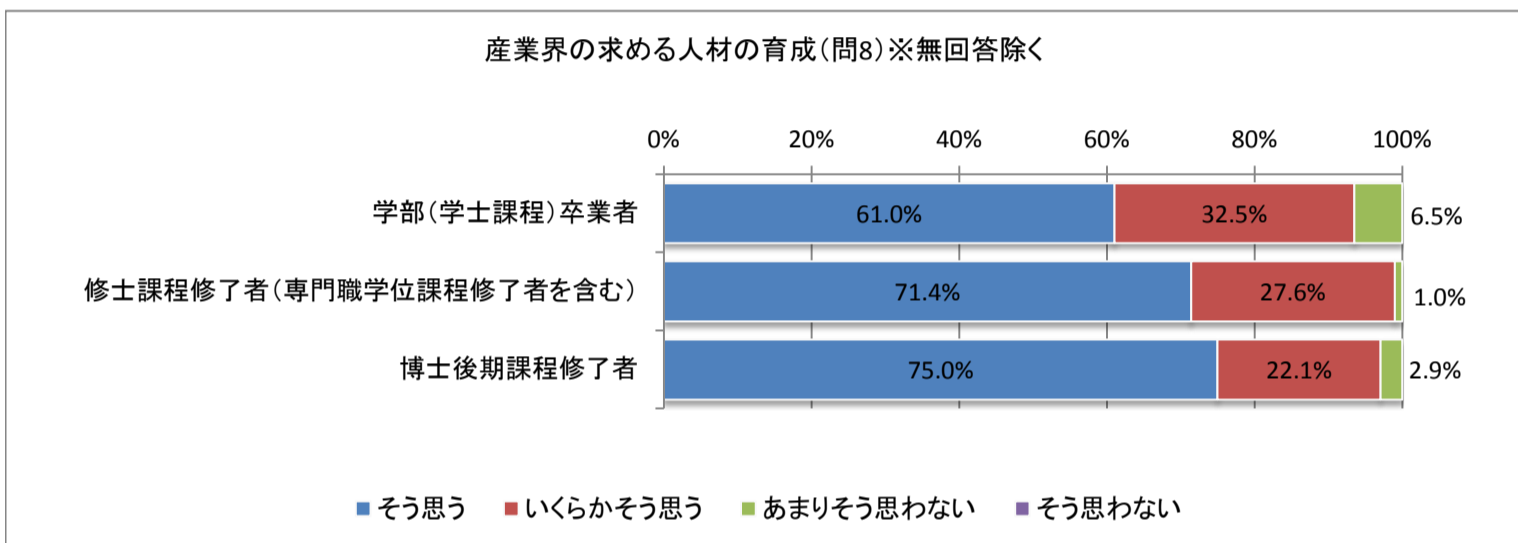
問6. 大学でしか学べない(卒業後習得が困難な)教育内容がありましたら、お書きください。

<p>[学びの技術]・好奇心から探究心を持って自ら学ぶ方法を知っている(課題発見→仮説→検証→考察を自分でできる技術)</p> <p>・失敗から学ぶ方法を知っている</p>
<p>・ディベート力、自分の意見を他人に伝える、理解してもらい、自分の研究については述べられるが、それ以外のことについて、自分で考えて、意見を持つこと。</p> <p>・東工大生は良い考えを持っているのに、発言できない、伝えられなくて、損していることがあります。</p>
<p>・リベラル・アーツ・人格教育・キャリア観</p>
<p>・長期間の海外研修プログラム(半年～1年)・他大学との継続的な交流プログラム</p>
<p>・特定の分野において体系的に知識を修得すること。</p>
<p>・幅広い経験(ビジネス、課外活動)・国際経験・競争適応力・対人影響力の発揮</p>
<p>・幅広い交友関係。一つの事に努力し、達成感を体験する。</p>
<p>インターンシップあるいは海外留学プログラム</p>
<p>プレゼン能力の育成講義→卒業後習得が困難とは言いませんが、入社一年目でも外部との協議調整時に、自信を持って主張できるようなプレゼン能力はやはり魅力です。</p>
<p>リーダーシップを養う施策課題解決力</p>
<p>一般教養分野については拡充を期待したい。</p>
<p>基礎科目および専門分野の教員との密なディスカッションを通じた専門的な思考の深化は、大学で習得しておいて頂くと、企業に入ってからの実用性に差が出ます。</p>
<p>基礎的な科目(学門)を身につけさせていただきたくよろしくお願いします。</p>
<p>研究・論文執筆をとおした、未知の問題・課題に対する論理的アプローチ力、および、大局的に問題を捉える力の養成。</p>
<p>時間をかけて、じっくりと自らの研究を突き進め、思考を深めていく経験及びその練習。会社に入ると、制限時間の中で、成果を求められるため、納得いくまで、研究と向きあえる大学生活は、貴重です。</p>
<p>社会で起きている時事に興味や関心を持つ姿勢を身に付けること。</p>
<p>専門分野以外の教養。</p>
<p>他の学部、類で関連がありそうな研究室の概要を知る、知っている。例えば1類の化学科、2類の有機、3類の高分子などつながりがある分野の研究室で、どのような研究を行っているかを知ること、卒業後、様々な大学への問合せや共同研究申込など行いやすくなると思います。</p>
<p>多様な人材を求めているため、特定の内容はありません。 自身の研究に熱意を持って取り組んで欲しいと思います。</p>
<p>特にありませんが、大学では、様々なカリキュラムを通して、物事を基礎から考える習慣や考えられる能力を養うことができると思います。また、論理的な思考を身につけたり、専門書を読んで理解する能力やレポートによる文書作成能力を身につけるなど、自ら「学習する方法」を学ぶことができると考えます。貴学が取り組む教育については、その重要性を学生自身に認識させ、取り組めるよう指導していただくことで、卒業・修了後、新しい分野や未知の知識を会得するときなど、必ず活かせるものと思います。</p>

問7. 本学卒業生は、貴社(貴機関)の業績に貢献していますか。



問8. 本学は産業界(官学界等)の求める人材を養成していると思いますか。



問9. 貴社(貴機関)は、本学の卒業生を今後積極的に採用したいと思いますか。

